



令和7年度 全国学力・学習状況調査

調査結果・分析

小野市教育委員会



令和7年4月17日、小学6年生と中学3年生を対象に、学力及び生活状況調査が全国一斉に実施されました。今年度は国語、算数・数学と理科（3年に1度実施）の3教科が対象となりました。本市全体における結果及び分析についてお知らせします。なお、各学校では、調査結果資料を分析し、教育実践の成果と課題を明らかにするとともに、今後の学校経営や学習指導に活かしてまいります。また、分析内容については、各校ホームページや学校だより等でお知らせします。これからも、子どもたちの『夢と希望の教育』を推進してまいります。

令和7年10月 小野市教育委員会



小野市教育行政顧問 東北大学 川島隆太教授の脳科学理論より



前頭前野を発達させるために

	小学校		中学校	
	小野市	全国	小野市	全国
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	88%	82%	85%	81%
毎日、同じくらいの時刻に起きている	95%	91%	95%	93%
朝食を毎日食べている	96%	94%	94%	91%

◆「早寝・早起・朝ごはん」の規則正しい生活習慣は、子どもたちの夢と希望を叶えるための大きな要因です。特に、近年は睡眠の重要性が言われ、子どもたちの成長にとって「質の良い睡眠」は不可欠です。小野市の子どもたちが自分の夢に近づけるよう、ご家庭でのご支援をよろしくお願いいたします。

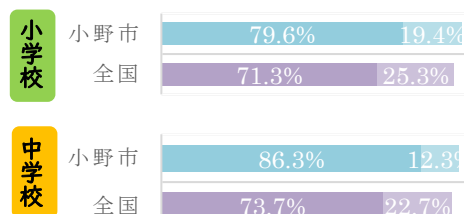
心の成長



	小学校		中学校	
	小野市	全国	小野市	全国
いじめは、どんな理由があってもいけないと思う	99%	97%	99%	96%
人が困っている時、進んで助ける	98%	94%	95%	91%
人の役に立つ人間になりたい	99%	96%	99%	97%
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	87%	81%	87%	78%

◆どの項目も高い割合を示しており、小野市の子どもたちは、ご家庭や地域のあたたかい関わりの中で、人を思いやる気持ちや地域を大切にする気持ちが育っています。これからも子どもたちの健やかな成長のために、保護者・学校・地域の協力が大切です。

～「人の役に立つ人間になりたい」99%の内訳～



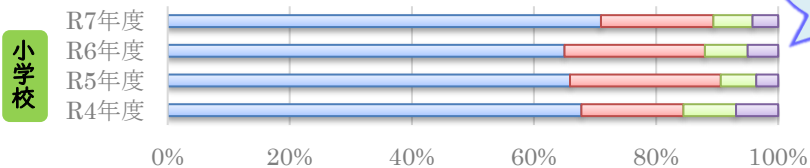
小野市の子どもたちは、明解な回答をしています。

自尊感情～心の安定～

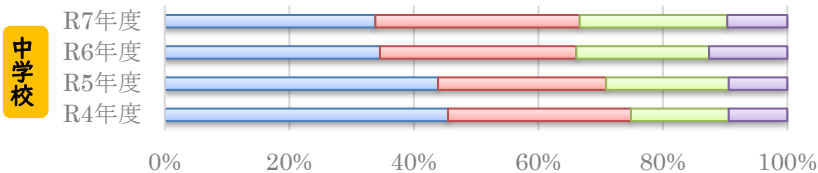


	小学校		中学校	
	小野市	全国	小野市	全国
将来の夢や目標を持っている	88%	83%	66%	66%
自分にはよいところがある	90%	87%	86%	83%
先生は、自分のよいところを認めてくれる	92%	92%	92%	90%
友達関係に満足している	94%	92%	93%	90%
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある	94%	93%	93%	92%

将来の夢や目標を持っている



小野市の
経年比較



※左から・当てはまる・どちらかといえば当てはまる・どちらかといえば当てはまらない・当てはまらない

☆家族との会話がカギ

◆小野市の子どもたちは、家族や友達、地域の方々、先生等の関わりの中で、幸せな気持ちになったり自分の良さに気づいたりして生活しています。しかし、中学生においては、将来の具体的な夢を描きにくい傾向にあります。これは、全国的にも同じ傾向にあり、学年が上がるとともに減少傾向にあります。

川島隆太教授の研究から、夢や希望を持つことは、学習にも関係していることがわかっています。家庭学習においては、与えられた課題に取り組むだけでなく、目的意識を持って学習する方が学力が定着することがわかっています。

どうすれば、子どもたちが夢や目標を持つことにつながるのでしょうか。それは、家族とのコミュニケーションがポイントです。子どもたちの将来のためにも、ぜひ、ご家庭でのコミュニケーション（会話）を大切にしてください。

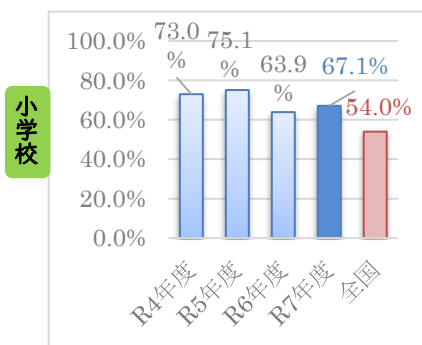
詳しくは、
ShortSeminar
No.74をご覧ください。



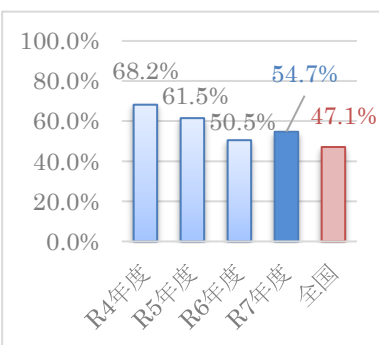
学習の習慣化

1日当たりの学習時間（家庭学習）

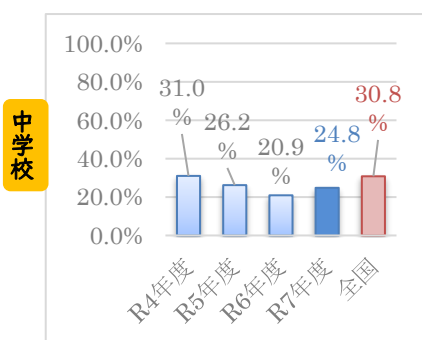
〈平日1時間以上〉



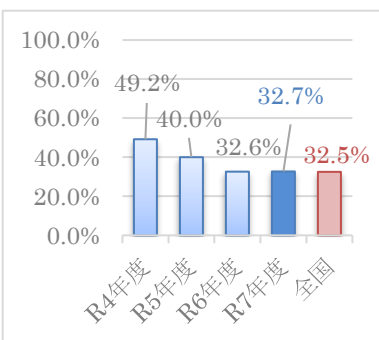
〈休日1時間以上〉



〈平日2時間以上〉



〈休日2時間以上〉





学力調査 ～小野市の結果分析～



☆本年度は、国語と算数・数学、理科の3教科を実施し、『知識』と『活用』が一体的に問われる問題形式でした。具体的な内容として、漢字や計算などの基礎・基本、文章や図・グラフの資料から情報を読み取る力、これら複数の資料を関連づける力、論理的に問題を解決する力、自分の意見を論ずる力等が問われました。中学校理科においてはCBTシステムが初導入、オンライン方式で実施されたため、動画を用いた出題もありました。

※中学校理科の数値は、IRT スコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
小野市	68	60	60	55	49	514
兵庫県	68	59	57	54	49	505
全 国	67	58	57	54	48	503

学力調査による市全体の結果です。小・中学校ともに、良好または同程度という結果でした。

小学校

国 語

☆漢字の読み書きは一定の定着が見られます。また、目的に応じて自分の考えが伝わるように書き表す力も定着しつつあります。無解答率も低く、粘り強く取り組んでいます。

▼目的に応じて、文章と図表を結びつけるなどして、必要な情報を見つけることに課題があります。文章で書かれた資料やグラフを確実に読み取る力の育成が必要です。

小学校

算 数

☆分数の計算やはかりの目盛りを読む、小数の加法($0.4+0.05$)について、「0.01のいくつ分」として共通の単位で捉えるなど、基礎的分野において、よく理解できています。

▼「10%増量」の意味を解釈し、「増量前の量」の何倍になっているかの理解、分数の加法について、計算方法を数や言葉を使って書くことに課題が見られます。

小学校

理 科

☆全体的に正答率は高く、中でも「生物」領域は良好で、ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身についています。

▼身の回りの金属について、電気を通す・磁石に引き付けられる性質かどうかの理解に課題があります。授業での実験や日常の具体的なものに広げて捉えることが大切です。

中学校

国 語

☆手紙の中で誤って書かれている漢字を見つけて修正することができています。

▼文章を読み比べて、表現の効果について自分の考えを書くことに課題があります。記述式で「書く」問題の無解答が多かったため、「書く」ことを大切に学習が必要です。

中学校

数 学

☆三角形の外角や平行四辺形の性質、確率等における基礎分野において、正答率が高かったです。

▼「素数」の意味理解、数学的な表現を用いて説明すること、図形の証明問題に課題が見られます。じっくり問題に向き合う時間の確保、考え方を表現する学習習慣が大切です。

中学校

理 科

☆水道水と精製水についての探究の発表を見て、この場面にふさわしいふりかえりを記述することはできています。

▼呼吸を行う生物についての理解、自ら学習課題を設定することに課題があります。身の回りの事象から生じた疑問や問題を自ら進んで解決しようとする力の育成が必要です。

クロス集計 ～学力と生活・学習習慣～

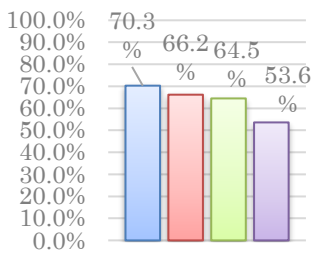


自分にはよいところがある(小学校)

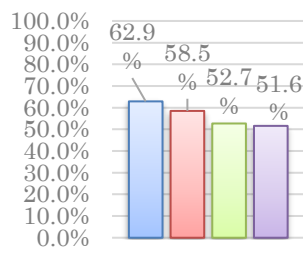
『クロス集計』とは

生活習慣や学習習慣と学力の相関関係について考察するものです。

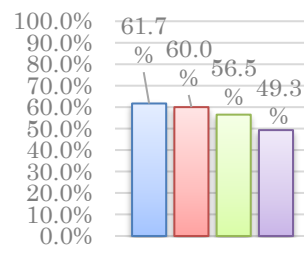
※グラフ 左の数字は、正答率



小学校国語



小学校算数

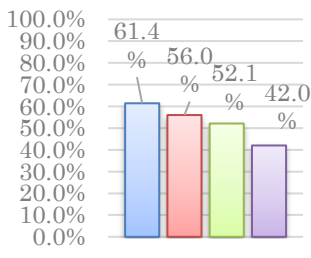


小学校理科

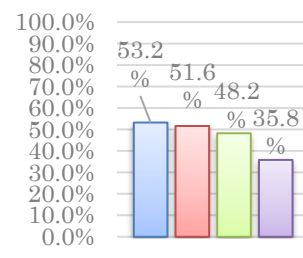
※左から

・当てはまらない
・どちらかといえば当てはまらない
・どちらかといえば当てはまる
・当てはまる

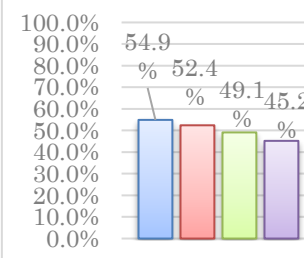
読書が好き(中学校)



中学校国語



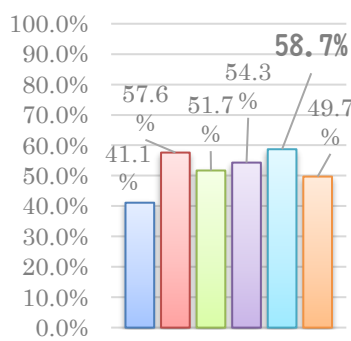
中学校数学



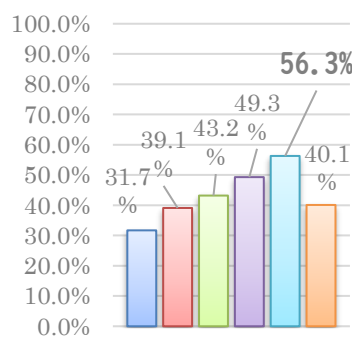
中学校理科

	上記の他にも、学力結果と相関関係があった生活・学習習慣（主なもの）
小学校	○地域や社会をよくするために何かしてみたい ○算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できる
中学校	○人の役に立つ人間になりたい ○授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりできる
小・中共通	○自分にはよいところがある ○授業や学校生活で、友達や周りの人を大切に、協力しながら課題解決に取り組んでいる

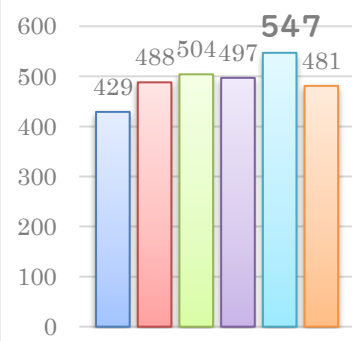
普段、1日当たりどれくらいの時間、PC やタブレットなどの ICT 機器を勉強のために使っていますか



中学校国語



中学校算数



中学校理科

※左から

・3時間以上
 ・2時間以上
 3時間未満
 ・1時間以上
 2時間未満
 ・30分以上
 1時間未満
 ・30分未満
 ・全く使わない

◆数学・理科は、ICT 機器の使用が「30分未満」である生徒の正答率が大きく秀でました。ICT 機器については、使えないと困るケースもありますが、機器ばかりに頼ることがないように、今後も ICT 機器の使用目的を明確にし、「必要な場面で必要な時間」使用する、紙とデジタルのハイブリッド型で取り組んでいきます。

☆小野市では『夢と希望の教育』を柱として、「学校・保護者・地域が連携して児童生徒を育てる」という視点のもと、「学力向上」「主体的で対話的な学び」「自主自立の育成」に努めています。これからも「もっと学びたい・もっとできるようになりたい」という子どもたちの思いを大切に、友達と関わり合い、共に考えることを通して、「確かな学力」と「未来への道を切り拓く力」の育成に努めてまいります。